

海外研修報告

「大学教員海外派遣プログラム」 により英国で学んだこと

スポーツライフスタイル・マネジメント系

柳 敏 晴

はじめに

まず、このような良い学びの機会を与えていただいた東京財団、鹿屋体育大学、関係の皆様から心より感謝いたします。2004年9月より派遣され、2005年7月末まで英国で生活する間に、改めて国の成立の違いによる独自性、生活習慣や社会制度の違いに戸惑いを覚え、新しい視点を持つことができた11ヶ月であると言えます。大学と自宅の往復が殆どでしたが、大学では教員との交流や International Student Service のプログラム参加、生活場面では住居としている B&B (Bed and Breakfast : 宿泊(ベッド)と朝食を提供してくれる宿舎) の家族との交流を通し、また色々なイベントに参加することにより、英国の文化や英国人の生活にも触れることができました。派遣大学として UWE Hartpury College を、住居として B&B を選



THE TIMES : ロンドンオリンピック決定に沸く市民



THE SUN: 精神は壊されはしない! テロには屈しない!

び良かったと思っています。



Malswick Mill B&B (Bed & Breakfast : 英国滞在中の宿舎)

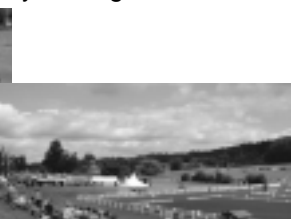


1. 派遣大学名

英国 ウェスト・イングランド大学ハートピュリー校 (University of the West of England Hartpury College, 以下 UWE Hartpury College と略す)



UWE Hartpury College



UWE Hartpury College の Rugby と Equine

2. 講義期間・講義概要・講義対象者および人数

講義期間：2004年10月～2005年6月

1) 講義概要：1月12・13・14・18・19・20日, Further Education 授業補助および指導, Organizing Event: Brendan Ward, Business in Sport: Ali Park, Leadership Water Based Outdoor Skills: Ali Park, Introduction to Ecology: Barbara Buck, Sport in Society: Tim Jenkins, Leadership Water Based Outdoor Skills: Ali Park, Course: National Diploma in Outdoor Education, BTEC Name: National Diploma in Sport (Outdoor Education), Code: 10019066, NQF Level: 3, Duration: 2 Years

講義対象者および人数：Further Education National Diploma in Sport (Outdoor Education) 1st Year and 2nd Year 各25名

2) 講義概要：4月14日, 大学院 Sports Event Management の授業 Practical Sessions で「Symposium of Sport, Leisure, Recreation and Environment」のプレゼンテーションを行う。

講義対象者および人数：Courses: Higher Education Sports Management (MA) の12名。

3) 講義概要：4月25日, 「日本のスポーツ事情, 行政と運営」 Courses: Higher Education, Sports Business Management (BA (Hons) / Foundation Degree), UCAS Code: BUWE B80 NC26 A- Fd. A and BUWE B 80 NCF6 A- BA (Hons), Modules: Management and Organisation Behaviour

講義対象者および人数：Level 1, Semester 2, 42名

4) 講義概要：5月10日, 大学院 Sports Promotion and Sponsorship の授業 Practical Sessions で「Hartpury Wellness Club」のプレゼンテーションを行う。



日本のスポーツの現状の講義

講義対象者および人数：Courses: Higher Education Sports Management (MA) の12名。



South Cerney OECでの授業風景

3. 海外で講義を希望した理由

海外で講義を希望した理由として, スポーツ界における国際化の進展と, 今後の国際交流には, スポーツが重要な働きをすと考えました。また, 鹿屋体育大学が, 国立大学唯一の4年制体育単科大学であり, 国際交流を基盤としたスポーツ振興について, 共に学びあうことは重要であると考え, 講義を希望しました。



University of the West of England Graduate Ceremony, Gloucester Cathedral



New Sports Hall の施設

鹿屋体育大学学生の、柴田亜衣さんが2004年アテネオリンピックで見事金メダルを獲得できたことは、国際的な競技力についての顕著な働きであると考えます。一方、生涯スポーツの国際化については、姉妹校提携や学生達・指導者の交流が必要であると考えます。UWE Hartpury Collegeは、ランドベース（陸）のスポーツに力を入れていて、ラグビー、ゴルフ、サッカー、馬術、ネットボールのスポーツ・アカデミーがあります。2005年4月4日に Hartpury Academy of Sports の新施設が開所式を行い、メインゲストとして、Dr. Kim Howells MP (Minister for Lifelong Learning, Further and Higher Education : 生涯学習・高等教育担当大臣)が来られました。4月27日には、全英大学ラグビー選手権決勝戦 (Twickenham, London) があり、惜しくも準優勝でしたが、Hartpury Rugby Academy の名を、全英に知らしめました。2003年夏は中国遠征を行い、2006年夏には、日本遠征を計画しています。東アジアに対する関心が高く、今後も国際交流が進むものと期待できます。今後益々国際化されていく社会にとって、スポーツが



全英大学ラグビー選手権大会決勝



国際交流に果たす役割がさらに重要になるものと考えられます。



馬術競技大会の様子

海外の講義により得られるものの一つとして、スポーツ発祥の地におけるプロスポーツクラブの成立と地域と生活に根ざした活動をあげました。地域と市民生活に根ざしたスポーツ活動が、どのようにマネージされ、地域や市民の期待やニーズに込んでいるかを知りたいと考えていました。また、スポーツが持つ条文化されていない精神と考えられる、Fair (公正)や Justice(正義)の思想を知りたいと考えました。英国の大学生が持つと考えられる、自主的・主体的な主題、例えば人権・平和・国際化・環境・福祉・スポーツ・健康・ボランティアに対する考え方を知り、独立行政法人化後の特徴ある大学創りへの方向性を得たいと考えました。



Criquet: 《英口語》公明正大なふるまい、フェアプレイ (fair play): play criquet 公明正大にふるまう

プロスポーツの展開は、サッカーやラグビーにおいて顕著で、スペクテイター・スポーツ (観戦スポーツ) としても定着しています。サッカーのマンチェスター・ユナイテッドの株価が、BBCTV

の朝の放送に登場する現象は、国民の関心も高く、経済面でもプロスポーツとしての役割を果たしていると考えられました。Hartpury Rugby Academyも、地元のプレミアリーグチーム Gloucester Rugby Club と密接な関係を持っており、プロ選手がアカデミーの施設を使用し、トレーニングやゲームを行っています。当然、学生達にも良い刺激を与えていて、プロ選手の方も、良いモデルになろうと努力をしています。学生の身分で、プレミアリーグの試合に出場している選手もいます。



Manchester United Home Stadium



Manchester, Salford Watersports Centre 昔のドックを再開発して活用

大学が地域に開かれたものとして、大学施設を地域コミュニティに開放している例があります。Team Bath; University of Bath (www.teambath.com) と、UWIC Sports and Leisure Club (University of Wales Institute, Cardiff School of Sport, PE and Recreation: www.uwic.ac.uk/sport/) を訪問しました。それぞれ、大学スポーツ施設を地域に開放し、活用されています。NIFS スポーツクラブにも参考になる点が多々あると感じました。地域の住民や、地域のチームとの交流は、今後益々進むもの

と考えられますし、大学と地域交流の良いモデルとして発信できるようになると考えられます。



TeamBath : 大学の地域協力



TeamBath 子ども達の活動

4. 海外の大学で得られた経験の所属大学への活用
 スポーツも音楽、美術や芸術と同じように、人々に感動や生きる喜びをもたらす、豊かな人生を送る上で大きな力を与えるものですから、文化としてのスポーツを是非学生達と教職員に伝えたいと考えています。スポーツは、人間としてのパフォーマンス向上だけでなく、私たちの生活を深く豊かにしてくれます。英国のスポーツは、「グリーンスポーツ」といわれる、ゴルフ、クリケット、テニス、ラグビー、サッカー等、芝生を活用したスポーツが中心です。「より早く、より高く、より遠く」だけでなく、「より優しく」地球に触れる環境問題に関心を持って欲しいと考えます。2012年のロンドンオリンピック開催が決定しましたが、テーマは「グリーンオリンピック」です。オリンピックのようなメガイベントは、環境の問題を抜きにしては語れなくなってきています。大学院の授業で「スポーツ・レジャー・レクリエーション

と環境のシンポジウム」のプレゼンテーションを行う機会を与られました。スポーツと環境は、これからのスポーツ・マネジメントのテーマとして、重要なものになってくると考えられます。国連環境プログラム (UNEP) と協力しながら、スポーツと環境の問題を考えているグローバル・スポーツ・アライアンス (Global Sports Alliance, 以下 GSA) の国際チームとして、Hartpury Academy Sports を登録するお手伝いをする事ができました。



GSA Team Hartpury



生涯スポーツの先駆的な取り組みをしている英国で得られたことは、地域の中で開かれた大学を目指す鹿屋体育大学にとって、有効な情報や方法論が数多く期待できます。野外教育や水辺活動の先進的な取り組みを紹介していく中で、学生達に留学や海外で学ぶことの意義を説き、自発的な交流を勧めていきたいと考えています。



ケルン体育大学訪問

5. 海外での講義経験について

講義の準備では、日本のスポーツ事情と、スポーツ・マネジメントの状況について、日本からかなりのものを準備していきましたが、インターネットの情報も有効でした。大学院 (Master of Sports Management) の講義を受講しました。学生達の

状況を把握し、授業の流れをつかむために、学期を通し授業を受講しましたが、かなり有効でした。結果として、Post Graduate Certificate を取得することができました。

学生達の状況では、日本人の授業に興味を持ってくれ、真剣に講義を聴いてくれました。質問が多く出て、一つ一つ答えるのが大変でしたが、学生達の積極性が印象的でした。実技種目では、ナショナル・ディプロマ (国家資格) との関係で、修得技術が具体的に明らかにされていて、就職にも関係するので、毎回の授業に真摯に取り組む姿勢が印象的でした。



各種イベント：ラジコンボート, レスキュードッグ等



6. 海外での講義体験で得たもの

教員が授業準備に多大な時間を割いています。学生達を顧客と考え、大切にしているのが印象的でした。そして、必ずチュートリアルを設定し、一人ひとりに細かく指導を行っていました。また、その記録をカリキュラム担当副学長に提出し、評価を受けるシステムが定着しています。また、教員が必ず提出期限を守り実行していることの重要性を感じました。欠席をした学生や課題を提出していない学生には、「何故、やるといったのにやらないのか」と厳しく接し、またその記録を確実に書いて残していたのが印象的でした。

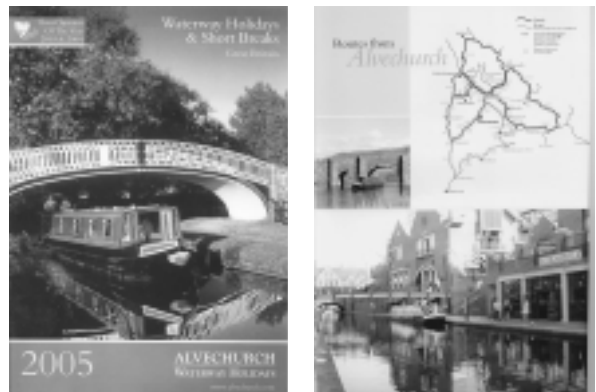
シラバスを、インターネットで公開し、計画通りに進めているのも印象的でした。変更する場合には、このような事情で、この内容を加えるほうがより理解が進むという断りを入れ、学生達の同意を得てから変更していました。変更内容もインターネットで流しています。また、学生達にできるだけ質問をするように話題を提供し、授業を活発にする努力が見られ、参考になりました。

大学院の授業では、色々な分野の専門家をお願いして講義を行うシステムが定着しています。例えば、生涯スポーツの振興の項目では、スポーツイングランド (Sports England) の地域担当責任者を招聘し、特別講義を行う等、地域の専門家の活用を頻繁に行っていることが印象的でした。就職も考えたものかもしれませんが、鹿屋体育大学ではまだまだ足りない部分ですので、取り入れて進めたら良いと考えます。



PGL Boreatton Park

全英に24箇所のセンターを持ち、40の野外活動種目を展開 フランス、スペインにも活動拠点を持つ



Canal and River Cruising

7. 海外での講義成果の活用

専門の授業 (海洋スポーツ, 野外教育, 生涯スポーツ) で、英国の最新の情報を提供していきたいと考えています。野外教育について、日本では主に米国の影響が強くあります。私自身の授業の材料についても、米国、オーストラリア、ニュージーランドが多く、英国やヨーロッパが殆どありませんでした。今後は、英国やヨーロッパを中心に幅広い情報を提供でき、学生達に世界の状況について具体的に伝えることができると考えます。

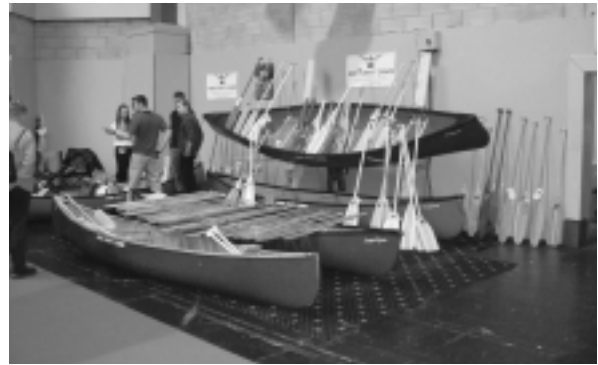


The All England Lawn Tennis and Croquet Club



ディンギーセーリングショー
2005

- ・ Sailing for Fun
- ・ Wooden Boat Repairs
- ・ Capsizing for Fun!
- ・ 'Virtual Skippers 3'
- ・ The Olympic Story: Athens 2004
- ・ Coach and Instructor of the Year Awards



Outdoor Show, Birmingham, NEC March 2005

スポーツ・マネジメントの領域では、クラブ主催で開催されている全英テニス選手権ウインブルドンのテニスや、ゴルフのセントアンデリュースの The Open が、今後のスポーツイベントへの示唆を与えてくれると考えました。クラブスポーツの理解を、生の情報提供により、現代社会におけるスポーツイベントやマネジメントについて考える機会を与えることができます。また、UWE Bristol Business School の授業（大学院）を受講しましたが、マネジメント全体の領域について、良い学びの機会を得ることができました。

学生達は、非常に積極的であるという印象を強く受けました。まず、解らないことは、恥ずかしがらずにどんどん質問をします。この積極的な姿勢はとても重要であると感じました。大学までの、教育方法が日本とは異なるからかも知れませんが、このような姿勢を作っていくことは、大学教育として必要であると、強く感じました。

質問を受ける側としては、質問内容を正確に聞き取り、答えなければいけないので、十分なりスニング能力と的確なスピーキング能力が必要であることを痛感しました。

鹿屋体育大学では、スポーツ発祥の地で得た文化としてのスポーツを、具体的な事例を示しながら伝えていきたいと考えています。また、英国で得ることができた情報を、専門分野の学会で発表し、できるだけ公にしていきたいと考えています。素晴らしい機会を与えていただいた、東京財団、鹿屋体育大学、関係の皆様から感謝いたします。



クライミングウォールはとても盛ん



- ・ 全英に230箇所の救助ステーション
- ・ 年間運営費20億円
- ・ 全てボランティアで運営
- ・ 180年の歴史
- ・ Poole にカレッジを持つ
- ・ 幅広いコースを準備

Royal National Lifeboat Institute: RNLI



Royal National Lifeboat Institute Open Day : Poole, 16 July

8. 資料 主な行動記録、出席学会やイベント等

1. 9月7日 鹿屋出発 NH201成田発ロンドン着, Hartpury 着。
2. 9月7日~17日 住居等各種手続きおよび授業についての打ち合わせ。
3. 9月17日 NH202ロンドン発9月18日成田着。9月18日~30日, 最終準備。
4. 9月21日~23日 夏季山岳スポーツ集中授業, 霧島。
5. 9月24日~27日 International Marina Conference 横浜, 参加, 講演。
6. 10月1日, NH201成田発ロンドン着 Hartpury 着。
7. 10月2日より UWE Hartpury での生活が本格的に始まる。
8. 10月17日 The International Student Trip to Cardiff 参加。
9. 10月19日 The International Student Welcome Reception 出席。
10. 11月6日 The International Student Trip to Oxford 参加。
11. 11月9日 UWE Hartpury College, Gloucester Cathedral 卒業式出席。
12. 11月10日 Bath University 訪問, 大学スポーツ施設の地域への活用調査。
13. 11月20日 The International Student Trip to Bath 参加。
14. 11月26日 ラグビー国際マッチ Wales vs. Japan, Millennium Stadium Cardiff 観戦。
15. 1月1日 New Year's Day Hiking Forest of Dean 参加。
16. 1月10日 大学院アサインメント提出: Marketing and Customer Management, Operation and Information Management, Sports Strategic Management, Sports Operation Management。
17. 1月12・13・14・18・19・20日 Further Education 授業補助および指導, Organizing Event: Brendan Ward, Business in Sport: Ali Park, Leadership Water Based Outdoor Skills: Ali Park,

Introduction to Ecology: Barbara Buck, Sport in Society: Tim Jenkins, Leadership Water Based Outdoor Skills: Ali Park

18. 1月23日 The International Student Trip to Warwick Castle 参加。
19. 2月21日より27日 全米キャンプ会議出席, オランダ, フロリダ: 全米からキャンプ関係者約2,000名の参加の大会で, 北米の野外教育におけるキャンプ事業の大きさを実感しました。
20. 3月4日 ディンギーボートショー, ロンドン: さすがにセーリング人口が多く, 海洋国であることを改めて実感しました。
21. 3月7日 British Waterway Museum Gloucester 見学。川と運河を活用した, 水辺活動の展開を知ることができました。
22. 3月19日 全英アウトドアショー, パーミンガム: 英国のアウトドア活動の様子が解りました。活動分野の幅広さと, ショーが成り立つ位の参加人口の多さに驚きました。
23. 3月31日~4月3日 British Psychology Conference, Manchester University 出席。英国心理学会の幅広さに触れることができました。また, マンチェスターの水辺活動施設を合わせて調査できました。
24. 4月4日 Hartpury Academy of Sport Hall オープニングセレモニー出席, Hartpury College が, 今後益々スポーツ分野に力を入れていく姿勢を感じる事ができました。
25. 4月14日 大学院の授業 (Sports Event Management) でプレゼンテーション。
26. 4月21日 University of the West of England Frenchay Campus 本部訪問・見学: 伸びている大学であることを感じる事ができました。
27. 4月25日 学部の授業 (Sports Management) で講義「日本のスポーツ事情, 行政と運営」: 学生達がよく質問してくれました。
28. 4月27日 全英大学選手権決勝 Loughborough vs. UWE Hartpury ラグビー観戦 Twickenham: 残念ながら準優勝でした。

29. 5月10日, 大学院の授業 (Sports Promotion and Sponsorship) でプレゼンテーションを行いました。
30. 5月16日 大学院アサインメント提出: Human Resource Management, Finance for Manager, Sports Marketing and Sponsorship, Sports Event Management.
31. 5月21日 Global Sports Alliance (GSA) 代表岡田達雄氏と Hartpury College の協力についてのミーティングを持ちました。7月に GSA Team として登録にこぎつけました。
32. 6月3日 Wimbledon Lawn Tennis Museum 見学 All England Tennis and Croquet Club Wimbledon: すでに全英選手権の準備がかなり進んでいました。
33. 6月7~8日 Farther Education 学生達の PGL 実習先視察 Boreatton Park, Baschurch, Shropshire: 教員が実習学生達へのインタビューの様子と細かい指導をしていることが、参考になりました。また、野外教育団体としての PGL の充実振りを実感しました。
34. 6月11日 International English Language Testing System 受験 Warwickshire College: 難しかったです。
35. 6月13~18日 Deuche Sporthochschule Koln 訪問: 学長と会い EU における体育大学の位置づけと役割について話をしました。EU になり、体育・スポーツに特化した大学として、EU 各地より学生が来るようになり、さらに発展している感じを受けました。
36. 6月15日 Confederation Cup 観戦 アルゼンチン対チュニジア: 2006年ワールドカップケルンの競技場です。
37. 6月19日 Forest of Dean 視察: 森の大きさと野外教育施設としての整備状況の良さに感激しました。
38. 7月1~3日 Sea Britain 2005 Portsmouth Historic Dockyard の行事に参加しました。海洋国としての歴史とそれに基づく国民の理解と自信を見ることができました。
39. 7月6日 2012年ロンドンオリンピック開催決定。国を挙げての誘致が功を奏し、スポーツの発展が、さらに進展するという感じを受けました。
40. 7月7日 ロンドン爆破テロ。英国で教育を受けた青年が英国国民を無差別テロをしたショックが国全体に広がったという感想を持ちました。
41. 7月9~10日 2012年ロンドンオリンピックセーリング競技会場 Weymouth & Portland を視察しました。J-Sailing に視察記事掲載。
42. 7月16日 Royal National Lifeboat Institute (RNLI) Open Day 参加。Coast Guard とは異なる団体が、自分達の地域の海難事故の救助活動を、ボランティアに行っている素晴らしさと、英国の奥深さを実感しました。
43. 7月22日 Principal Malcolm Wharton とミーティングを持ち、今回の研修の評価とお礼の挨拶をしました。
44. 7月27日 英国発 28日成田着, 名古屋着。
45. 7月29日 GSA Captain Meeting に Hartpury Academy of Sports 代表代理として出席。世界の GSA チームキャプテンとの交流を持つことができました。
46. 7月30~31日 Sports Summit EXPO2005出席。「スポーツと環境」が、これからの社会やスポーツ界にとって、重要な課題であることを強く認識することができました。
47. 8月1日 名古屋発鹿屋帰着。